

令和6年度 第3学年 授業改善推進プラン

	伸ばしたい力(児童の実態、学習状況、指導の実態より)	改善プラン(課題の改善プラン、具体的手立て)
国語	<ul style="list-style-type: none"> 文章のまとまりを捉えた読解力、話の中心を捉えて聞いたり話したりする力。 様々な分野の本に親しむ。 新出漢字の確実な定着。 	<ul style="list-style-type: none"> 言葉の意味を確かめながら読み進めたり、話したりしていく。 文章に出てきた言葉の同義語や類義語にも触れたり、辞書を活用しながら学習したりして、語彙を増やしていく。 言葉や表現に着目させながら、物語の情景や主人公の心情を考えさせる学習活動を行う。 教科書の学習に合わせた<u>図書を紹介</u>したり、司書教諭におすすめの本を聞いたりすることで、読書分野を広げられるようにする。 既習漢字を使えていないときは、その都度、書き直しをさせるなどして、漢字で書く習慣を付けさせる。「東京ベーシックドリル」を用いて漢字や語彙の定着を図る。
社会	<ul style="list-style-type: none"> 身近な小平市について、実体験や経験も踏まえて、意欲的に学ぶ。 学習課題に対して、既習事項や生活体験を根拠に予想したり、見通しをもったりしながら、調べ学習をする。 	<ul style="list-style-type: none"> 問題解決的に授業を進める。学習したことが生活の中でどう生かされているのか実感できるような授業を展開する。 ねらいに沿った資料を提示し、児童の理解を図る。 各小単元において、児童に習得させなければならない知識を捉え、「何を」調べさせ、「何を」考えさせるかを明確にする。
算数	<ul style="list-style-type: none"> 基礎的な知識や技能の確実な習熟。 既習事項を活用して応用問題を解く。 問題解決に積極的に取り組み、いくつもの考え方を図・式・文章で表現する。 式の意味や考え方を自分なりに説明できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 朝学習の時間を活用し、「東京ベーシックドリル」を用いて個に応じた技能の習熟を図る。 児童が主体的に考えたいくなるような課題設定や導入場面の工夫をし、意欲的に取り組めるようにする。(教科書付属のデジタルコンテンツや具体物を効果的に活用する。) 児童が互いの解決方法や考えにすすんで関わり共有できるよう発問を工夫して話し合い活動の充実を図る。また、同時に自分や他の児童の考え方もノートに書く、<u>ノートづくりの指導</u>をすすめていく。
理科	<ul style="list-style-type: none"> 安全面や正確な測定の仕方などを常に意識できる。 予想と結果を比較し、共通点や差異点をもとに考察する。 	<ul style="list-style-type: none"> 本時のねらいを明確にし、それを達成するにはどんな実験をしたらよいか考えさせる。また、考える中で安全面や正確性を考慮できるようにする。 考察の際、<u>差異点や共通点を全体で共有してから考えさせ</u>、より具体的に記述できるようにする。 見る、触れる活動を多く取り入れることで、興味・関心をより深められるようにする。 デジタルコンテンツを活用することで、植物や昆虫の体のつくりをより具体的に観察できるようにする。
音楽	<ul style="list-style-type: none"> 自然で無理のない歌い方で、のびのびと声を出して歌う。歌詞に込められた意味を考え、自分の思いをもって合唱する。 節奏を聴いたり楽譜を見たりして演奏する技能を身に付け、合奏することを楽しむ。 お互いの音を聴き合い、思いや意図をもって表現する。 鑑賞では、曲や演奏のよさなどを見だし、味わって聴く。 	<ul style="list-style-type: none"> 呼吸や発音の仕方に気を付けて歌う声かけをするとともに、お互いの表現の良さを認め合える雰囲気づくりを心掛ける。歌詞に込められた思いや曲の構成を考えるなどして歌い方の工夫をしていく。 器楽では<u>節奏を示すとともに、個に応じた指導</u>を行い演奏する技能を身に付けさせる。 即興的に表現する活動等を通してお互いの音を聴き合ったり重ねたりする楽しさを味わう。 鑑賞では、「<u>共通事項</u>」をもとに、聴き取ったことや感じ取ったことを言葉で表現し、友達と意見の交流をしていく。
図工	<ul style="list-style-type: none"> 興味をもって活動に取り組む。 お互いの作品のよい所を認め合ったり意見を伝え合ったりする。 授業規律を理解し、安全に対する意識をもつ。 	<ul style="list-style-type: none"> 鑑賞活動や造形遊びの活動を行いながら、他の人の活動を見て自分のイメージにつなげたりする経験や、<u>認め合いの言葉がけを価値づけ</u>してお互いに伝え合ったりする経験を通して、より主体的に学ぶ姿勢を醸成する。 用具の安全な使い方を学ぶことを通して、危険を回避する方法を正しく理解してもらう。また、児童がわからないことを質問したり、相手の話を傾聴したりしたことを価値づけしながら、全体の安全に対する意識を向上していく。

<p>体育</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・意欲的に学習に取り組む。 ・チームとして作戦を考えたり、協力したりしながら取り組む。 ・勝敗だけではなく、チームとしての役割や、相手を讃えることを大切にする。 ・うまくいかなくても諦めずに最後まで取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・運動が苦手な児童でも、<u>達成感や充実感を味わう</u>ことができるような授業を行う。(初回からの<u>記録の伸びや工夫して取り組んだ態度などを評価</u>する。) ・友達と協力してプレーすることの面白さを感じられるよう、<u>積極的によい連携プレーや行動を紹介</u>していく。 ・ICT 機器で各種目のよい動き(お手本)を見せたり、自身の動きを記録して振り返ったりすることで、一人一人の目標を明確にし、改善点を明らかにする。
<p>外国語活動</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・英語を使って進んでコミュニケーションをとる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・歌やゲーム、簡単な会話の場面など、<u>外国語を使って楽しく話す場面を多く作れるようにする</u>。 ・児童同士、児童と教員など、話す相手を変えながら、<u>たくさん話す機会を作る</u>。
<p>道徳</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの課題について自分事としてとらえる。 ・自分の考えを伝え合い、深める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・友達と交流する時間を授業に多く取り入れ、友達の考えを受け入れながら、自分の考えを深められるようにする。 ・学習したことが実生活でも生かせるよう、その時々<u>の児童の実態に合った教材選定</u>をする。